



リスクマネジメント

ID管理ソリューション



人事システムと連携したID管理システムを構築し、ID管理の自動化を支援します。

利用シーン: 人事異動と連携したActive Directoryの自動更新を行いたい場合や、共有フォルダ管理の実施。

お客様の課題

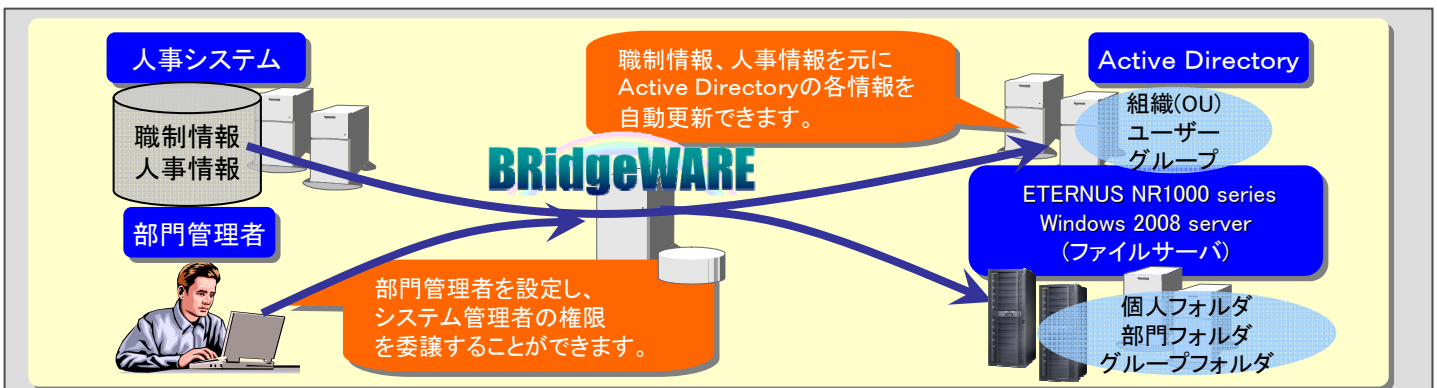
- 複数システムへのID登録に工数がかかる。
- 手動登録のため登録ミスが多発している。
- 登録や削除の証跡がとれない。



解決策

- ✓ ID管理システムを導入して運用工数を削減します。
- ✓ ID管理をシステム化する事で登録ミスを防止します。
- ✓ ID管理システムのログから証跡を確認できます。

ソリューションの概要イメージ



全社のID管理を一元化することは、非常に時間と費用がかかります。従って、ID管理の対象を徐々に広げていくことが現実的な導入方法です。

ID管理ソリューションでは、段階的なID管理の構築をサポートします。

IDの集約

ID情報をActive Directoryに集約

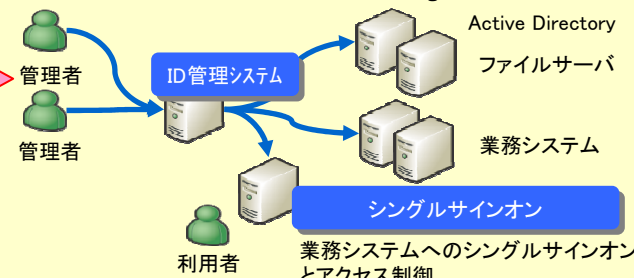
・BRIDGEWARE



IDの集約・配布・シングルサインオン

ID管理製品によりID情報を集約し各業務システムに配布。

- ・ID管理: PMaid IDMaster
- ・シングルサインオン: RSA Access Manager



導入により対策が可能となるリスクマネジメント分野

- | | | | |
|---|--|-----------------------------------|----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 認証・ID管理 | <input type="checkbox"/> Web・メールセキュリティ対策 | <input type="checkbox"/> 不正アクセス対策 | <input type="checkbox"/> 情報漏えい対策 |
| <input type="checkbox"/> 運用管理対策 | <input type="checkbox"/> セキュリティ監査 | <input type="checkbox"/> その他 | |

ソリューションの特長

●人事システム情報をもとにした自動化

職制情報、および人事情報の差分を抽出し、職制変更と人事異動の内容を自動判別します。自動判別の結果をActive Directory上の組織、ユーザー、およびグループとファイルサーバ上のフォルダに対して自動的に反映します。また、部門管理者機能により、職制に存在しないプロジェクト用のグループとファイルサーバ上のフォルダの権限設定が可能です。

●ID管理の一元化

ID管理システムの導入により、管理者権限の委譲、ワークフローによるID管理、監査ログの管理などを一元化することが可能です。また、シングルサインオン(SSO)システムとの連携により、一度のログインですべてのシステムのアクセスコントロールが可能となります。

サービス体系


サービス	概要
簡易システム導入サービス	Active Directoryとファイルサーバに特化したシステムを導入します。
統合システム導入サービス	ワークフロー、複数システム対応など、統合的なシステムを導入します。

ソリューション素材

素材名(開発元)	概要	動作環境
BRIDGEWARE (富士通SSL)	人事システム情報を元にして、Active Directoryの組織(OU)情報、グループ情報、ユーザー情報操作、およびファイルサーバの共有名の操作を自動化します。これによってActive Directory運用工数、ファイルサーバ管理工数を最小化することができます。	OS Windows Server 2003 R2 SP2 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 必須ライブラリ Java Runtime Environment6.0 データベース Oracle Database 11g MySQL *1
PMaid IDMaster (富士通関西中部ネットテック)	IDの統合、管理者権限の委譲、ワークフローによるID管理、監査ログの管理ができます。	OS Windows Server 2003 R2 SP2 / 2008 R2 データベース Oracle Database 10g / 11g / 11gR2 *1
RSA Access Manager (EMC Corporation)	1回のログインで、すべての業務システムの利用が可能なシングルサインオン(SSO)を実現します。 また、PMaid IDMasterやSyncTrustとの連携により、アクセス権管理の自動化も可能となります。	RSA Access Manager サーバ SPARC版 Solaris 9/10 Windows 2003/2008 Server Red Hat Enterprise Linux 4.0以上/ES 5.0 SUSE Linux ES 9/10 AIX 5.3 PowerPC データベース Oracle 10g R2/11g/10g R2 RAC Microsoft SQL 2005 SP3/2008 Microsoft AD/ADAM Sun Java System Directory Server 5.2/6.3 Novell eDirectory 8.8.0 以上

*1 対応バージョンについては、お問い合わせください。

※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載された情報は、予告なく変更することがあります。
※記載の内容は、2011年10月現在のものです。

 SafetyValue とは、安心・安全・信頼・事業継続分野における富士通株式会社のブランドです。
BRIDGEWAREは、SafetyValueの一環としてご提供しております。
PoweredSolutionは、富士通SSLのソリューション商品体系の名称です。

お問い合わせ先

株式会社 **富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ** (富士通SSL)

お問い合わせ総合窓口

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

T E L : 044-739-1251

当社ホームページ <http://www.ssl.fujitsu.com>